

【館山市】令和元年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア” への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」 効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点と目的：し、『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	事業概要	R1担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	○賛成・良かった点 ●反対・良くなかった点 ☆改善策・前向きな提案 ◆疑問・質問
1	《景観形成事業》 ①シンボルロード美化事業 ●植栽管理業務委託 ・シンボルロード（館山駅西口広場等） ・鏡ヶ浦通り・北条海岸駐車場	建設課	【執行額】 ① 9,515,000円 ② 9,990,000円 ③16,181,000円 (合計) 35,686,000円 【補助対象額】 35,686,000円 (補助率：1/2) 【交付金充当額】 17,843,000円	《KPI》 観光入込客数 【基準値】 (H27) 163万人 【目標値】 (R1) 196.6万人 【実績値】 (R1) 195.4万人 【達成率】 (実績/目標) 99.4% ※R1末時点での目標値に対する実績値の割合 【達成率】 (増加分) 76.1% ※5年間の増加分の目標値(42.6万人)に対するR1末時点での増加分の実績値(32.4万人)の割合	【内部評価】 ・相当程度有効であった 【理由・説明】 ・シンボルロードや館山駅西口交通広場は、夏の海水浴シーズンや各イベント等で訪れる観光客が、初めに館山市を感じることができる場所であり、植栽管理を実施することで、観光客はもとより不特定多数の人の目にもとまり、多くの観光客が訪れるきっかけとすることができた。	【今後の方針】 ・事業の継続 【理由・説明】 ・館山市を代表する幹線市道で、海辺空間の景観の一部を形成していることから、引き続き植栽管理を実施することにより、美化に努めていく。	○四季を問わず花に囲まれた海を目にできる館山は、自ずと観光に繋がっていく。 ○駅及び西口周辺は市の玄関口として、来訪者を迎える大切な空間・地域であることから、美事業は重要。 ○海沿いの道を、更にきれいにし、自転車道も作っていただけると良い。 ○植栽は、観光都市を自称するならば手をぬけない仕事。館山の印象をアップする大事な要素だと思うので、ぜひ継続してほしい。 ☆こまめな草刈り作業を望む。 ☆全体の市道のさびれ感がひどい。高齢化の進む中、地域内での整備ができていない可能性がある。そちらにも資金を使えないか。 ☆景観向上には継続して取り組むことが必要。リピーターが訪れる度に進化している様子を楽しめるように。 ☆ネットやTVにより目に訴えることでの効果を高める。 ☆フラワーラインの景観形成は館山のイメージとなることから、道路整備・安全対策と併せて行うべき。
	《景観形成事業》 ②フラワーライン美化事業 ●植栽管理業務委託 ・坂足工区 ・布沼工区 ・相浜工区	観光みなの課		【内部評価】 ・相当程度有効であった 【理由・説明】 ・日本の道100選にも選ばれている館山市のフラワーラインは、夏はマリーゴールド、早春は菜の花が楽しめることから、人気の観光スポットとなっている。 ・植栽を実施したことにより、多くの観光客が訪れるきっかけとすることができた。	【今後の方針】 ・事業の継続 【理由・説明】 ・フラワーラインは、館山市を含めた南房総地域の人気スポットとなっており、特に春先には多くの観光客や館山市の一大スポーツイベントである若潮マラソン大会の参加ランナーを楽しませていることから、引き続き植栽を実施することにより、美化につとめていく。		
	《景観形成事業》 ③北条海岸無料監視所等改修（工事） ●館山サーフクラブの活動拠点施設である無料監視所を海辺の賑わいづくりのために施設機能強化の改修を実施した。	観光みなの課		【内部評価】 ・非常に有効であった 【理由・説明】 ・度重なる台風による工期の延期や、想定以上の損傷による工事内容の一部変更などあったが、無事に完了し、施設利用者が安全で安心して施設を利用することができるようになった。 ・併せて、隣接する公衆トイレの改修と洋式化を実施したことにより利便性が向上し、人の流れを生み出すことにも繋がること期待される。	【今後の方針】 ・事業の継続 【理由・説明】 ・引き続き施設の適正な維持管理を実施し、観光客が安心して楽しめる環境整備を進めて行く。	☆施設の維持管理、環境整備をもう少し充実させるべき。 ☆北条海岸は海水浴場として、昔から人気であったが、衛生面や安全対策を講じ、かつての賑わいを取り戻すこと。	

【館山市】令和元年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア” への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」 効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点と目的：し、『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	事業概要	R1担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	○賛成・良かった点 ●反対・良くなかった点 ☆改善策・前向きな提案 ◆疑問・質問
2	<p>《交流拠点施設機能強化事業》</p> <p>渚の駅たてやま施設機能強化事業 ●“渚の駅”たてやまにある「さかなクングャラリー」の充実を図るため、展示用什器を購入した。</p>	観光みなと課	<p>【執行額】 1,540,620円</p> <p>【補助対象額】 1,540,620円</p> <p>【交付金充当額】 770,310円</p>		<p>【内部評価】 ・非常に有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・展示用什器を購入し、さかなクンの使用する楽器を展示したり、さかなクン直筆の銘板を設置することで魅力的な展示を増やすことができた。 ・マグロのぬいぐるみは空間の高さを生かし、回遊するように設置することで、新たな目玉としてインパクトのある展示ができた。 ・博物館入口に懸垂幕を設置することで、博物館内にさかなクングャラリーが開設されていることをPRすることができた。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・多くの方がさかなクングャラリーを目当てに“渚の駅”たてやまを来訪されており、同ギャラリーを充実することはさらなる来客の増加につながることから、引き続き魅力UPを図っていく必要がある。</p>	<p>○内容の充実を今後も進めてほしい。 ○有効な事業である。リピーターの増加に期待。 ○非常に良いと思う。 ○今後も定期的にイベントをしてほしい。 ●アピール度が少ない。 ☆さかなくんコーナーは良いが、古い漁具等は倉庫にしまっている物のように見える。もっと魅力的な展示はできないか。 ☆ギャラリーの充実は、来訪者の主力テーマになる。アイデアはどんどん実施を。 ☆要因をよく捉えたいところ。 ☆広報を更に進め、認知を広げることが重要。 ☆さかなクングャラリーとお土産コーナーについて、プロにアドバイスをお願いするなど、もう少しハイセンスな展示ができないか。 ☆渚の駅は館山の主要な観光施設であるが、駐車場の拡張や付帯機能などの課題がある。棧橋の整備と併せ、全体計画を示し取り組むべき。 ☆経済効果を高めていく方策を検討していくべき。 ☆他のイベントを絡めて、来客の増加につなげたらどうか。</p>

【館山市】令和元年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア” への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」 効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点と目的：し、『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	事業概要	R1担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	○賛成・良かった点 ●反対・良くなかった点 ☆改善策・前向きな提案 ◆疑問・質問
3	《海辺の環境改善事業》 ①海岸利用者マナー向上対策 ●「安心・安全な館山の海水浴場の確保に関する条例」の周知及び禁止行為の指導・勧告。 ●海水浴場のマナー向上のための条例禁止事項の周知チラシ及び館山海・浜ルールブックを作成し、利用者へ配布した。	観光みなと課	【執行額】 ① 1,099,256円 ② 8,886,120円 ③ 11,282,760円 (合計) 21,268,136円 【補助対象額】 21,082,016円 【交付金充当額】 10,541,008円	【内部評価】 ・非常に有効であった 【理由・説明】 ・関係機関等との合同パトロール実施の際に、作成した条例・ルールチラシを配布し、安心・安全な海・浜空間が保たれた。 ・本事業は、館山市の魅力の一つである海岸線一帯を美しく維持することにより観光振興、地域活性化が図られた。 ・市内の4ヶ所で開設している海水浴場において、利用者が安心・安全に楽しんでいただけるような海岸環境が保たれた。 ・夏季の海水浴場開設期間中は、早い時間帯に駐車場がほぼ満車となり、来場者も飽和状態となるが、交通誘導員の配置および駐車柵の設置により駐車方法のマナーの向上と歩行者の安全が確保された。 ・飽和状態となった際には、交通誘導員により状況に応じて車両入場制限を行うことにより、大きな混乱を回避することができた。	【今後の方針】 ・事業の継続 ※交付金事業としては終了 【理由・説明】 ・南房総国定公園にも指定される34.3kmの変化に富んだ海岸線は、マリンスポーツや海水浴の適地とされ、館山市の重要な観光資源の一つである。この観光資源を本事業により適切に維持管理することにより、来訪者の増加に繋げていく。 ・令和2年度も引き続き海岸清掃活動を実施することで、館山市の魅力を高めていく。 ・沖ノ島は、海の生き物と身近に触れ合うことができ、貴重な自然が残る館山市の「宝」とも言える場所であり、地域外からも多くの来訪がある人気スポットに急成長した反面、駐車場不足やごみの放置などの問題が発生していることから、本事業により来訪者のマナー向上を図っていく。 ・沖ノ島環境保全協力金については、認知度も高まり、協力金額も増加してきているため、引き続きより多くの方に賛同していただけるよう努める。	○条例・ルールチラシの配布は有効であった。 ○評価が有効であった点、とてもよかったと思う。 ☆台風による被害が大きく追いつかない。県との連携は必須である。日常的に清掃を行っているボランティアに応援はできないか。河川流域の竹の整備も必要。 ☆沖ノ島は館山の宝、きれいなトイレの整備をお願いしたい。 ☆沖ノ島の環境整備を積極的に推し進める必要がある。 ☆館山の海岸はユニバーサルエリアを目指している点で、利用者には一層理解協力を求めている、みんなの海岸と意識する方は増えていくのでは。 ☆来訪者が気軽に来れるよう、駐車スペースの十分な確保が必要。 ☆環境の取組と合わせて、利用者や観光客が関われることで、守ること、利用することの一体の取組が進められると良い。 ☆沖ノ島は貴重な自然資源だと思うので、手遅れにならないように、今後もしっかりと保全していったほしい。 ☆台風15号で被害をうけた沖ノ島の自然再生に継続的に取り組んで欲しい。 ☆沖ノ島に常設トイレを設置してほしい。 ☆安全な海水浴場の維持のため、水上バイクの乗り入れなどに一定のルール規制を設けるべき。ゴミのないビーチが快適な海水浴や海辺の遊び・学びにつながることから、一年を通じ、環境保全に努め、北条海岸・鏡ヶ浦の魅力発信を行うべき。 ☆海岸清掃にもっと力を入れるべき。「海がきれいなこと」が何よりも大切という意識も市民に植え付けるべき。 ☆美しい海岸の維持管理により観光振興に繋がる。 ☆臨時駐車場を設け、シャトルバスの運行、路線バスの運行。 ☆沖ノ島を含む海水浴場について、有料化と24時間YouTubeリアル配信を行い、更に整備してほしい。	
	《海辺の環境改善事業》 ②海岸美化対策 ●ビーチスポーツや夏の海水浴の適地となっている館山市の良好な海岸環境を保つため、非常勤職員による通年の海岸清掃に取り組んだ。	観光みなと課					
	《海辺の環境改善事業》 ③沖ノ島環境保全事業 ●来訪者の利便性向上のため、沖ノ島進入路の整地及び駐車区画の設置に必要な資材を購入するとともに、設置工事を実施した。 ●「沖ノ島」の来訪者が安全・快適に過ごせるよう、警備業務を委託により実施した。 ●「沖ノ島」の環境保全に繋げるため、平成29年度からスタートした環境保全協力金の受付業務を委託により実施した。	観光みなと課					

【館山市】令和元年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア” への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」 効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点と目的：し、『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	事業概要	R1担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	○賛成・良かった点 ●反対・良くなかった点 ☆改善策・前向きな提案 ◆疑問・質問
4	<p>《城山公園機能強化事業》</p> <p>花のまちづくり ●市民・各種団体・行政協働による「花のまちづくり」の機運醸成に努め、「花のまち館山」のイメージ定着や観光地としての魅力向上を図るため、ガーデニングコンテスト等を開催した。</p>	都市計画課	<p>【執行額】 1,249,971円</p> <p>【補助対象額】 1,249,971円</p> <p>【交付金充当額】 624,985円</p>		<p>【内部評価】 ・相当程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・第7回目のガーデニングコンテストは、表彰式が中止となり、対外的なアピールが不足した。 ・ガーデニング教室は、定員を超えた参加希望があり、盛況であった。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・今後も「花のまちづくり」の機運醸成に努め、「花のまち館山」としてのイメージ定着を図り、来訪者の増加を目指す。</p>	<p>☆もう少し市全体の花のまちづくりを推し進め、その一環として城山公園を考えるべき。 ☆「渚の駅」共々館山観光の主力ポイント。里見氏という歴史に深く関わった場所が公園であり、高齢の方でも頂上から眺望が叶う情報をもっと前面に。 ☆郊外に向けたプロモーションという点では、更なるPR活動が必要。 ☆花のまちとして市民意識の醸成と自主的な花づくりにより、広がりが見られるようにする。 ☆城山公園との結びつきが弱い。城山公園での事業を考えてはどうか。 ☆「花のまち館山」としてもう少し園内の花木類の充実を期待する。 ☆駐車場が更に広くなると良い。 ◆城山公園を指定管理としたことでのメリットは。クジャク園の後は。</p>
5	<p>《航路利用促進事業》</p> <p>東京～館山航路 利用者増加施策 ●航路を利用した交流人口の増加を図るため、市内観光案内や各種ツアー等について掲載したリーフレットの作成、雑誌への記事掲載やマスコミセールスなど、特に都心部における宣伝・プロモーション活動に重点を置き、事業を実施した。</p>	観光みなど課	<p>【執行額】 5,363,211円</p> <p>【補助対象額】 5,363,211円 (補助率：1/2)</p> <p>【交付金充当額】 2,681,605円</p>		<p>【内部評価】 ・非常に有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・新型コロナウイルスの影響により、館山港における乗下船者数は3,195人減(東海汽船(株)速報値・対前年度比70%)という結果となったが、PRに力を入れている『東京⇄館山航路』については、都心部を中心とした継続的な宣伝・プロモーション活動により、496人増(東海汽船(株)速報値・対前年度比143%)という結果となった。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続 ※交付金事業としては終了</p> <p>【理由・説明】 ・前年度に引き続き『東京⇄館山航路』に関する宣伝・プロモーション活動を強化した結果、対前年度比143%(東海汽船(株)速報値)と効果を上げたことから、今後も当該航路の認知度向上、更なる誘客を図るため、PR活動を継続的に実施していく。</p>	<p>○とても良い企画だと思うので、多くの人に知ってもらえるよう、今後ともPR活動を進めてほしい。 ○PR活動の成果で、利用者も増加し有効であった。 ○渋滞対策として、東京航路は利用者拡大が期待できる。 ●単体の事業では、継続しても効果は薄い。あまり継続して労力をかける意味がなさそう。 ☆東京までのジェット船を定期便化できると良い。 ☆季節運航のジェット船の利便性や、利用者目線の体験談をPRすることで、利用者増に繋がるのではないかと。 ☆大変有効なコンテンツ。コロナ対策を講じた上で、PR活動を強化していくべき。 ☆都心からの観光客誘致に大変有望な素材。さらにお客様を呼び込むには、到着後の移動手段やオプショナルツアーなどを充実させていく必要がある。 ☆海路を持っていることは、観光面からも重要な要素だが、明確に経済効果が表れているとは言えない。引き続き、効果的な取組を探っていくべき。 ☆もっと推進したほうが良い。知らない方が沢山いる。</p>

【館山市】令和元年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア” への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」 効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点と目的：し、『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	事業概要	R1担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	○賛成・良かった点 ●反対・良くなかった点 ☆改善策・前向きな提案 ◆疑問・質問
6	《恋人の聖地事業》 ①PR費・ビジネス化支援・年間負担金 ●NPO法人地域活性化支援センターの認定を受けた市内3カ所の「恋人の聖地」を題材に、市内外に対するPRを行うとともに、「恋人の聖地」を活用した商品開発に要する経費の一部を補助し、事業者の自立的な事業の発展等を目指したが、補助金の申請が無かった。。	企画課	【執行額】 ① 0円 ②1,100,000円 (合計) 1,100,000円 【補助対象額】 1,100,000円 (補助率：1/2) 【交付金充当額】 550,000円	【内部評価】 ・ある程度有効であった 【理由・説明】 ・『館山市「恋人の聖地」活用支援事業補助金』の申請自体が無かったため、本交付金の活用による直接的な効果は見られなかった。 ・令和元年度の「恋人の聖地」に関する取組は、市HPやガイドブック等による周知・啓発が中心となったが、外部からの問合せ等もみられたことから、取組による一定程度の効果はあったと考えている。	【今後の方針】 ・事業の見直し(改善) 【理由・説明】 ・『館山市「恋人の聖地」活用支援事業補助金』は、地方創生推進交付金の活用による平成30年度及び令和元年度の2か年に限定した取組としていたことから、令和2年度以降の実施予定は無いが、NPO法人地域活性化支援センターが主催する「恋人の聖地」プロジェクトへの参画や「恋人の聖地観光協会 全国市町村長会」等を通じ、今後の地域間連携や幅広い事業連携に向けた検討を行うとともに、引き続き、交流人口の増加を目指し、「恋人の聖地」活用の取組に関する周知・啓発に努めていく。	●市民にあまり知られていない。ターゲットが分からない。 ●この事業を推進する意味はあまりないのでは。 ●申請もなく「一定程度の効果」とまで言えないのではないかと。抜本的に見直さないと、労力の無駄になりかねない。 ●費用対効果が見えない。 ☆他地域との差別化、特性の演出とともに、日本中の恋人の聖地がコラボしての事業を展開できないか。 ☆「恋人」の印象を若人から熟年に拡げるPRはどうか。自然、歴史、文化、グルメと今時の熟年層にドンピシャ。 ☆アピールの手法について、新たなツールを検討してみてもは。TVで取り上げてもらうとか。 ☆補助金申請が無かったことは、この取組に対する理解度が低いのか、事業自体に発展性や期待感が感じられないのか、分析し、改善・見直しが必要。 ☆広域連携については、どれだけ館山がクローズアップできるかが大事。観光資源のブラッシュアップに努力してほしい。	
	《恋人の聖地事業》 ②東京湾フェリー活用事業 ●「恋人の聖地」を活用した交流人口の増加を目指すため、宿泊・滞在型観光推進協議会(構成団体：安房地域3市1町及び富津市)や株式会社東京湾フェリーと連携し、恋人の聖地企画イベントを実施した。	観光みなと課		【内部評価】 ・相当程度有効であった 【理由・説明】 ・南房総地域の強みである自然等を活かした体験プログラムを組合せたモニターツアーの実施や各種体験プログラム等を一元化して紹介するWEBページの作成・情報発信することで、南房総地域の魅力がより一層高められ、観光客のリピーターや宿泊増に繋がることが期待される。	【今後の方針】 ・事業の継続 【理由・説明】 ・本事業は、館山市はもとより、南房総地域の自然・歴史・文化・グルメ等の観光資源を組合せ、ブラッシュアップし、魅力を情報発信し続けていくことで、観光入込客数及び宿泊客数の増加に繋げていく。		

【館山市】令和元年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア” への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」 効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点と目的：し、『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	事業概要	R1担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	○賛成・良かった点 ●反対・良くなかった点 ☆改善策・前向きな提案 ◆疑問・質問
7	《海辺の賑わい創出事業》 ①海まちフェスタ ●館山湾を活用した海辺のまちづくりイベント「たてやま海まちフェスタ」を同実行委員会への委託により実施した。	観光みなと課	【執行額】 ①547,557円 ②50,000円 (合計) 597,557円		【内部評価】 ・相当程度有効であった 【理由・説明】 ・台風の影響でいくつかのイベントが中止となったが、入込数は9,500名弱を数え、多くの交流人口を創出した。 ・本事業により、市民をはじめ多くの人に海や船と親しむ機会を提供し、「館山＝海の魅力にあふれるまち」であるという意識づけに寄与した。	【今後の方針】 ・事業の継続 【理由・説明】 ・市民をはじめ、首都圏からの観光客など多くの人に海や船と親しむ機会を提供することにより、館山湾を活用した海辺のまちづくりを引き続き推進する必要がある。	○海まちフェスタ・オーシャンフェスタともに、館山ならではのイベント開催が行われ、館山の海のポテンシャルが認められている。今後も、海の魅力発信とともに様々な企画に取り組んでほしい。 ○地域の特性を活かした有効な事業。 ☆オーシャンフェスタ、シーフェスタを北条・館山エリアだけでなく、西岬・平砂浦もあわせて、館山の海を楽しむ大きなイベントにしてはどうか。 “毎年、夏は館山へ集合！” “海を味わいつくそう” みたいな大胆な企画を行えないだろうか。 ☆観光だけでなく、漁業で盛り上げる可能性はないのか？ ☆もう少し積極的なアピールを。 ☆海の魅力に触れられる挑戦体験出来る各種イベントは、年間メニューとして示せれば可能性は大きい。 ☆多くの賑わいと交流を産む有効な事業。コロナ対策を講じた上で進化させていくべき。 ☆もっと充実していきたい。
	《海辺の賑わい創出事業》 ②オーシャンフェスタ ●北条海岸を会場に、ビーチフラッグスやスタンドアップパドル(SUP)等、子どもから大人まで気軽に楽しめる海のスポーツイベント「オーシャンフェスタ館山」を同実行委員会への補助により実施した。	スポーツ課	【補助対象額】 597,557円 (補助率：1/2) 【交付金充当額】 298,778円	【内部評価】 ・非常に有効であった 【理由・説明】 ・オーシャンフェスタ館山は、子供から大人まで海を楽しむイベントとして、令和元年度で13回目となった。本事業の効果もあり、来場者が2日間合計で1,000人前後になる大きなイベントとして確立されている。 ・本イベントは「競技」だけではなく、「海における安全教育」や「協賛企業による出店・販売」を行い、選手だけではなく参加者全員が楽しめるように企画構成されており、実行委員会には館山サーフクラブ所属の大学生も参加し、人材育成なども同時に行っている。 ・開催時期を夏の海水浴シーズン前に行うことにより、水難事故予防にもつなげている。	【今後の方針】 ・事業の終了 ※補助金交付の終了（事業は実行委員会が継続予定） 【理由・説明】 ・当初から本イベントに対する補助金交付を平成19年から31年としていたため、予定どおり本事業を終了とした。今後は、主催者である実行委員会が歳入確保し、引き続き開催予定となっている。 ・また、補助金交付は終了するが、市は今後も備品の貸出など支援を行う予定。		

【館山市】令和元年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア” への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」 効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点と目的：し、『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	事業概要	R1担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	○賛成・良かった点 ●反対・良くなかった点 ☆改善策・前向きな提案 ◆疑問・質問
8	<p>《海を活かした雇用創出事業》</p> <p>①企業・起業支援 ●市内において起業する個人に対して、事業所等の開設に要する経費等の一部を補助し、産業の振興を図った。</p> <p>②企業誘致トップセールス ●市内経済の発展及び雇用の場の確保を図るため、企業誘致の実現に向けたトップセールスを実施する予定であったが、職員のためのセールスであったため、すべて一般財源による対応とした。</p>	雇用商工課	<p>【執行額】 1,480,000円</p> <p>【補助対象額】 1,480,000円</p> <p>【交付金充当額】 740,000円</p>	<p>《KPI》 企業誘致件数</p> <p>【基準値】(H27) 0件</p> <p>【目標値】 2件(+2件)</p> <p>【実績値】 0件</p> <p>【達成率】(実績/目標) 0.0%</p>	<p>【内部評価】 ・非常に有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・市内の優良中小企業の新事業所建設や増設をバックアップすることで更なる雇用創出を図っている。 ・立地奨励事業、移住者相談事業が相互に効果を発揮し雇用創出へと繋がっている。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・本事業は市内優良企業の新規事業バックアップを行いながら新規雇用創出にも有効な施策であると考えており、既存の優良企業を有効活用した働き口増加、人口の増加を図っていく。 ・本年度も立地奨励金、雇用促進奨励金交付予定企業の対応をしていくとともに市のHPへの掲載、銀行等の各関連団体への周知により新たな奨励金交付先を増加していく計画。</p>	<p>●企業誘致件数がゼロで残念な結果。 ●額が低くて申請する気が起きない。 ☆マリンスポーツの拠点作りのため。ガイド、インストラクターが必要となる。 ☆海を活かした仕事は漁業。現在館山市の漁業の抱えている問題点を冷静に分析すべきと思う。 ☆若者を中心とした事業にすべき。 ☆市民まちづくりアンケートの中でも最重要の施策。柔軟な発想で、館山の未来が明るくなるような雇用の創出を形にしてほしい。 ☆テレワークを実施する企業がふえているのであれば、館山への企業誘致のチャンス。 ☆個人への支援もひきつづきお願いし、仕事をする場所としての館山の魅力をアピールしてほしい。 ☆企業や起業の支援が、雇用創出に繋がりにくい現状を踏まえ、既存の事業への支援と併せ、今後に期待する。 ◆達成率ゼロということは、根本的に考え直す必要があると思うが、非常に有効であったという根拠は何か。 ◆どのくらいの雇用創出があり、評価が「A」となっているのか。</p>

【館山市】令和元年度地方創生推進交付金事業 「“海辺エリア” への人と資源の集約化によるまちづくり ～コンパクトシティによるまちづくり～」 効果検証データシート

地域資源である“海”を活かし、海辺エリア（海の玄関口＝交流拠点“渚の駅”たてやまから半径3km圏内）への資源の集約を進め、海辺エリアをまちの陸路・海路の拠点と目的：し、『海辺エリアのさらなる魅力向上』⇒『交流人口の増加』⇒『まちの賑わい創出』⇒『しごとの創出』⇒『人の流れ』の好循環の流れを生み、地域の稼ぐ力と地域価値の向上を図り、地域の再生・経済活性化により、人口減少の歯止めを目指す。

事業No.	事業概要	R1担当課	事業費	事務局案			総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
				KPI (重要業績評価指標)	事業の評価	今後の方針	○賛成・良かった点 ●反対・良くなかった点 ☆改善策・前向きな提案 ◆疑問・質問
9	<p>《海の魅力による移住定住施策》</p> <p>①移住支援 ●移住・定住者の増加による地域の活性化を図るため、都市部からの移住希望者に対する相談業務をNPO法人おせっ会への委託により実施した。 ●移住・定住者の増加による地域の活性化を図るため、「JOIN移住・交流&地域おこしフェア」への出展等を実施した。</p> <p>②空き施設情報管理・移住施策イベント ●移住・定住促進事業の更なる推進のため、移住相談業務を行うNPO法人おせっ会への委託により、体験ツアーの実施や空き家バンク制度の周知を図った。</p>	雇用商工課	<p>【執行額】 4,724,800円</p> <p>【補助対象額】 4,720,000円</p> <p>【交付金充当額】 2,360,000円</p>	<p>《KPI》 移住者数</p> <p>【基準値】(H27) 58人</p> <p>【目標値】 60人</p> <p>【実績値】 49人</p> <p>【達成率】(実績/目標) 81.7%</p>	<p>【内部評価】 ・非常に有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・これまでのイベントに何度か参加して下さっている人が年度内に移住完了に至るケースが数組見られた。相談窓口やイベントなど移住促進活動の継続の成果である。 ・また、移住を希望する人と移住してきた人、地元の人が交わる移住者交流会を開催することにより移住前から館山に知り合いがいる状況を生むことで、移住を決断する後押しにもつながっていると見られる。 ・移住定住促進助成金(家賃補助)はH31年度は6件の申請があり、子育て世帯の移住促進及びその支援につながっている。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・今後も引き続き相談窓口の設置とイベントの開催を行い、アプローチの仕方等工夫を重ねながら移住定住促進活動を継続していく。</p>	<p>○「私はこうして館山に来た」の体験談や支援策を色々な交流会を重ねていく中で紹介する手法は地道だが良策。 ☆Living Anywhereを宣伝する。コワーキングスペースを整備する。この間ボランティアで館山と関わった人たちと交流会を持つ。子育て環境の改善は必要。 ☆もっと若者の活力を前面に。 ☆物件情報の整備・充実をすべき。 ☆ビジュアルに館山の自然をPR。テレワークにより必ず移住は進む。 ☆いちばん力を入れていきたい事業のひとつ。コロナの影響で、都心からほどこい自然豊かな南房総に住みたいと思っている人は、増加する。この機を逃さず、積極的に展開してほしい。 ☆人口増加は重要かつ最終目標と言える。事業の継続が必要だが、マンネリを破り、新しいことにチャレンジすべき。 ☆海の魅力も重要であるが、館山市の総合的な特色を示すことが必要。 ◆一次産業とのマッチングは行わないのか？ ◆移住者がどれ位の割合で定住されているのか知りたい。</p>